

令和元年度 事業の概況

令和元年度は、中小企業の皆さまに対し安定的な資金供給を行うとともに、お取引先企業に対して経営者セミナーやビジネスマッチングフェアの開催、外部機関との連携や機能を活用した事業支援など“経営相談・支援機能の強化”を当金庫の重点課題と位置付けて営業活動を展開しました。

また、社会貢献の取組みとして大阪府と連携した緑化活動へ参画するなど、地域金融機関として地域密着型金融のさらなる推進に取り組んでまいりました。

一方、お客さまの利便性向上のために店舗ネットワークの拡充を計画的に進めており、令和元年度は新店舗として「八尾支店」を開設いたしました。

尚、業績につきましては次のような結果となりました。

預金積金残高

1兆3,699億円

前年度対比+1,090億円

貸出金残高

6,052億円

前年度対比+629億円

当期純利益

87億円

前年度対比△9億円

● 今後の課題

当金庫では、中小企業専門金融機関として中小企業への安定的な資金提供、お取引先企業に対しての各種経営支援等を行うことが大きな使命であることから、それらを可能とするために、当金庫自体の収益向上および財務健全性の向上が必須であると考えており、今後も以下の経営課題に全力をあげて、継続的に取り組んでまいります。

📢 金利以外の競争力(価値)を高めます

1

現状の経営環境は金利競争等により厳しい環境にありますが、今ある経営資源を最大限活用し効率性、収益性を高め、金利に左右されない取引先とのリレーションの構築など金利以外の競争力(価値)を高めます。



📢 中小企業・地域顧客のサポーターとしての役割を強化します

2

中小企業・地域顧客のサポーターとしての金融仲介機能強化を図るため、職員各々が格差なく一定レベルの知識と専門性を有するようになるための人材育成、職員教育に注力します。



📢 「不動産に強い」「融資特化」の営業戦略を推進します

3

当金庫では他の金融機関に先駆けて「不動産に強い」「融資特化」の営業戦略を推進してきた結果、これが当金庫の強みとなっています。当面はこの強みを活かした現在の経営スタイルによる拡大成長路線を継続します。

